

【中間市立病院あり方検討委員会資料】

医師確保の方策

令和元年 8 月 28日

中間市立病院

(1) 医師確保に向けた取り組み

○中間市立病院においては、医師確保に向けた継続的な取り組みが行われている。

項目	詳細
医師負担の軽減	医師事務作業補助者の配置及び非常勤医師の雇用により、常勤医師の当直勤務等の負担軽減を実施中。
給与制度の見直し	給与水準の引き上げを図るため、各種手当の見直しを検討中。 ※現行の地方公営企業法一部適用では、制度的な限界があり、実行には繋がっていない。
大学医局への医師派遣依頼	大学医局に対し、医師の派遣を依頼。 昨年度までは、医師1人の派遣があったが、今年度はなし。
医師紹介サービスの利用	民間が行っている医師紹介会社に登録。 専門のコンサルタントによる当院に合う人材の紹介。 今年度の実績として、医師1名が採用となっている。
ホームページによる求人募集	中間市立病院ホームページに医師及び医療スタッフの求人募集を掲載している。合わせて福岡県医師会のホームページに求人募集を掲載している。 昨年度の実績としては、医療スタッフ5名が採用となっている。（今年度実績はなし）

(1) 医師確保に向けた取り組み

○医師確保に向けた活動を実施した際に、各方面より要望があげられている。

要望内容	概要と対応状況
給与・手当の改善	給与水準の引き上げを図るため、各種手当の見直しを検討した。現行の地方公営企業法一部適用では、制度的な限界があり、実行には繋がっていない。 これ以上の実行のためには、運営主体の変更が必要となるとともに、現在、在職中の医師等とのバランス確保が必要となる。
老朽化している施設の改善	感染管理への配慮から特に外科系医師から要望としてあげられる。 部分的な改善（部分的な改修や修繕）では抜本的な解決に繋がらないため、新病院整備を行うことが最良な対策だと考えられる。
研修体制の構築 症例数の確保	特に若手医師からの要望としてあげられる。 専門医・指導医の確保が必要となるとともに、症例数確保のための取り組みが求められる。